



www.hks-power.co.jp

株式会社 エッチ・ケー・エス

〒418-0192 静岡県富士宮市北山7181

HKS Co.,Ltd.

7181 Kitayama, Fujinomiya, Shizuoka 418-0192, JAPAN

禁無断複写・転載
Unauthorized reproduction is strictly prohibited.

45003-AK013

The 7th generation
EVC
ELECTRONIC VALVE CONTROLLER

取扱説明書



商品名	EVC7
用途	ターボチャージャー付き自動車エンジンブースト制御用
適合車種	DC12V マイナスアース車
コードNo.	45003-AK013
備考	<ul style="list-style-type: none">・ 燃料点火補正装置(F-CON等)を併用してください。・ ポペットバルブ車・ツインターボ車・φ4ホース配管車に取付ける場合は、それぞれ別途のホースセットが必要になります。・ ブーストを上げると、フュエルカットの入る車両があります。フュエルカットを解除した場合は、必ず燃料増量装置を併用してください。

取付けは、必ず専門業者に依頼してください。
取付け前及びご使用前に必ずお読みになってください。

本書はお読みになった後も、本製品の側に置いてご活用ください。
ご使用中にわからないことや、不具合が生じた際に便利です。

はじめに

この度は、HKS EVC7をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品を安全に使用していただき、かつ機能を十分に発揮させるために、取付け前及びご使用前に本書をお読みください。

HKS EVC7は室内からの操作によって任意にブーストの設定を行うことができます。ステップングモーターを採用しているため、ブーストの立ち上がりが早く、アクセルを踏み込んだときのオーバーシュートもなく設定ブーストが得られます。

本製品は、エンジンの高出力化をめざし、競技での使用を目的に開発されています。高速走行又はサーキットでのスポーツ走行等において大変効果的です。エンジンの出力向上には、水温・油温の上昇、油圧の不足が伴います。エンジン性能維持のため走行時には各状況の確認をおすすめします。

本製品を取付けた車両を競技のみで使用する場合には、改造申請を行う必要はありません。一般公道での使用を目的とする場合は、改造申請の手続きを行ってください。部品の交換・取付け・チューニング加工等を行った車両は、その内容により車両保安基準に適合するか否かを判断する必要があります。場合によっては、改造申請の手続きが必要となります。

本製品は改造申請が必要な部品となりますので、専門業者に確認のうえ、手続きを行ってください。

- 本書は本製品を安全に使用していただき、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するために守っていただきたい注意事項を示しています。
- 消耗部品や紛失部品及び本書のご注文は、お買い上げの販売店までお問い合わせください。部品を発注する際は、商品名・コードNo.・エンジン型式を注文先にお伝えください。コードNo.はパーツリストに記載されています。
- 本製品は競技での使用を目的に開発されたものです。一般公道での使用を目的とする場合は、改造申請を行ってください。
- お客様、又は第三者が本製品及び付属品を誤使用したことにより受けた損害については、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品はノーマル車両、及びHKS製品取付け車両を基準に開発されており、上記車両以外に取付けた場合は、本製品の機能・性能及び安全性について保証いたしかねます。
- 本製品は、DC12V マイナスアースの国産車のみで使用可能です。
- 本製品の仕様は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書は予告なく改版することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書は取付け終了後、保証書と共にお客様に渡してください。
- 本製品は日本国内での使用を目的に設計されたものです。海外では使用しないでください。
This product is designed for use in Japan only. It must not be used in any other country.

本製品の特長

- コンパクト設計
ディスプレイユニット、バルブユニットのどちらもコンパクトなため、室内・エンジンルームへの取付けが容易です。
- 高ブースト対応
ノーマルから300kPa[43.0PSI]までの広い範囲でブースト制御が可能です。
- 簡単なブースト設定
ブースト設定はA・B・C・Dモードそれぞれのブーストをダイレクトに入力することにより制御されるため、直感的な操作性を実現しています。
- ノーマル復帰機能
EVC機能をOFFにすることで、ノーマルブーストに復帰します。一部車種では取付け前のブーストより低くなる場合があります。
- スクランブル機能
スクランブル設定分だけブーストをアップするスクランブル機能を装備しています。ディスプレイユニットのダイヤルを押すことにより機能します。
- 4モードブースト設定機能
独立した4つのブースト設定ができるため、用途によって使い分けることが可能です。
- ワーニング機能
ブーストがワーニング設定値を超えてワーニング条件を満たすと、ブザーと表示で警告すると共に設定Point分のブーストを下げます。これは、ブーストの過上昇によるターボやエンジンの損傷を防止するための機能です。
- スロットル信号入力対応
スロットルポジションセンサーの信号を入力することにより、スロットル開度に応じたブースト制御が可能です。
キャンセル可能。
- エンジン回転信号入力対応
エンジン回転信号または点火信号を入力することにより、エンジン回転数に応じたブースト制御が可能です。1～8までの気筒数が設定可能で、12,000rpmという高回転まで対応することができます。
キャンセル可能。
- 車速信号入力対応
車速信号を入力することにより、車速に応じたブースト制御が可能です。2～16までのパルス数が設定可能で、500km/hという高速域まで対応することが可能です。
キャンセル可能。
- マップ補正機能
スロットル信号とエンジン回転信号または車速信号の2つを入力することにより、この2つを軸とした3次元マップを使用して、思いのままにブースト特性(Valve Control Valueの ±300Point)をコントロールすることが出来ます。
キャンセル可能。

●データメモリ機能

各種設定値は内部メモリに記憶され、イグニッションOFFはもちろん、バッテリーを取外しても設定値が消えることはありません。

●排気バイパス選択機能

一般的なアクチュエータを使用するスイングバルブ、そして大容量ターボに見られるウエストゲートを使用するポペットバルブタイプ、どちらのタイプにも対応可能です。

●圧力単位選択機能

圧力単位をkPaまたはPSIから選択可能です。

●ディマー機能

ディスプレイユニット照明の明るさをお好みに併せて設定することが可能です。

●データロック機能

不注意などによる設定変更を防止するため、暗証番号を設定して設定値の変更を禁止することが可能です。

●大画面カラーディスプレイ

大画面のカラーディスプレイを採用したことにより昼夜を問わない良好な視認性を実現しました。また、一度に多くの表示が可能のため、一目で必要な情報を確認することが可能です。

目次

はじめに	1
本製品の特長	2
目次	4
安全上の注意	5
パーツリスト	8
各部の名称と働き	9
取付け方法	12
配管方法	12
配線方法	22
固定方法	23
取付け後の作業	24
取付け終了後の確認	24
操作方法	25
オプションパーツリスト	36
維持・管理	36
故障と思う前に	37
異常・故障時の対応	38
保証について	38
アフターサービスについて	38
取外しの際の注意	38
本製品の仕様	39
用語の説明	40
改訂の記録	40
EVC7 セットアップシート	41
保証書	44

安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用してお客様及び作業員への危険レベルを示しています。



警告

作業員又は使用者が死亡、又は重傷を負う可能性がある場合



注意

作業員又は使用者が傷害を負う危険が想定される場合(人損)
拡大物損の発生が想定される場合(拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発された物的損害〔例えば車両破損及び焼損〕)



警告

- 換気の良い場所で取付け作業を行ってください。
換気の悪い場所で作業すると、爆発及び火災の原因となります。
- 本製品及び付属品は運転の妨げになる場所・不安定な場所に取付けしないでください。
運転操作ができなくなり、事故の原因となります。
- 本製品は、DC12Vマイナスアース車両専用です。24V車両には取付けしないでください。
火災の原因となります。
- バッテリーのマイナス端子のターミナルを取外してから作業を行ってください。
ショート等による火災及び電装部品の破損・焼損の原因となります。
- コネクタを外すときは、断線しないようにコネクタを持って外してください。
ショート等による火災及び電装部品の破損・焼損の原因となります。
- 使用中、本製品に異音・異臭等の異変があった場合には、本製品の使用を直ちに中止し、
お買い上げの販売店までお問い合わせください。
そのまま使用すると、感電や火災及び電装部品の破損の原因となります。
- 運転中、ドライバは、EVC7を操作しないでください。
事故の原因となります。



注意

- 本製品の取付けは、必ず専門業者に依頼してください。
- 本製品及び付属品の加工・分解・改造等の誤使用及び修理は絶対に行わないでください。
感電及び車両の破損・焼損のおそれがあります。
- 精密電子機器のため、落としたり強いショックを与えないでください。
作動不良を起こし、車両を破損するおそれがあります。
- オイル・水等の異物が混入しないようにしてください。
作動不良を起こし、車両を破損するおそれがあります。
- 作業を始める前に、エンジンルーム内の各部の温度が約40℃位(手で触れて熱くない程度)に下がっていることを確認してください。
火傷をする恐れがあります。
- 車両にあった排気バイパスタイプを選択してください。
排気バイパスタイプには、スイングバルブタイプとポペットバルブタイプがあります。
間違えると、車両を破損するおそれがあります。
- 高温になる場所・水等がかかりやすい場所を避けて取付けてください。
作動不良を起こし、車両を破損するおそれがあります。
- 配管及び配線の際に、本製品のホースやハーネス類を取付車両の燃料パイプ等の配管と一緒に固定しないでください。
車両の破損・焼損のおそれがあります。
- 配線は断線・ショート・誤配線のないように行ってください。
感電及び車両の破損・焼損のおそれがあります。
- スプライスは、必ず付属のものを指定の場所に使用してください。
接触不良による車両の破損・焼損のおそれがあります。
- エアフィルタは必ず挿入し、定期的に交換してください。
作動不良を起こし、車両を破損するおそれがあります。
- エアフィルタを取付けるときはオイル・潤滑剤等をホース・エアフィルタに付着させないでください。
ホースが外れる原因となります。ホースが外れると、車両を破損するおそれがあります。
- エアフィルタの汚れがひどい場合はエアフィルタの交換を専門業者に依頼してください。
汚れでエアフィルタが詰まっていると制御ができなくなり、エンジンを破損するおそれがあります。
- バルブユニットは、オイル・水等が混入しないように大気開放弁を下に向けて取付けてください。
オイルや水分が混入すると作動不良を起こし、最悪の場合、車両を破損するおそれがあります。

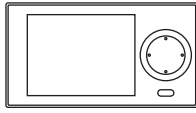


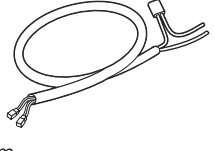

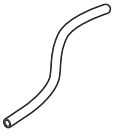
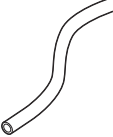
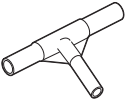
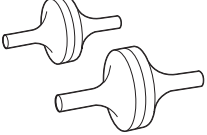

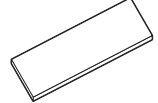
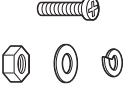
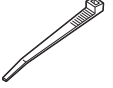


⚠ 注意

- ブーストの上げすぎには注意してください。
ブーストを上げすぎると、エンジン・タービンを破損するおそれがあります。
- ブーストの上げすぎによるエンジンの破損を防止するためにワーニング機能は必ず設定してください。
- 作動確認は、一般公道では行わないでください。
他の通行車両の妨げとなり、事故のおそれがあります。
- 本製品及び車両の本来の性能が損なわれている場合には、速やかに点検・整備を専門業者に依頼してください。
- 故障等の修理は、お客様ご自身では絶対に対処せず、必ず専門業者に依頼してください。
- 走行中、車両に異音・異臭・振動等の異変があった場合には、ユーザマニュアルに従って対処してください。
- 本製品を取外した後、車両側の線は必ずテープ等で絶縁してください。
ショートによって電装部品を破損・焼損するおそれがあります。

- 日常点検はドライバーの責任です。必ず実施してください。
- 本書は基本の形を説明したものです。実際は車種によって取付け方法が異なります。
- 純正部品の取付け・取外しの作業はメーカー発行の整備書をよく読んでから行ってください。
・整備書がお手元がない場合は、メーカーにてご購入ください。
- 誤配線・誤配管がないか、確認しながら取付けてください。
- 取付け作業のために一時的に取外す純正部品は破損・紛失しないように大切に保管してください。
- ボルト・ナット類は適正な工具で確実に締付けてください。
・必要以上に締付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。
- 接続時に、車両の配線を断線しないようにしてください。
- 過給圧制御ソレノイドバルブ等が装着されている車両は、コネクタまたはホースを抜いて機能を解除してください。
- 画面上に点灯しないドットや常時点灯しているドットがあります。
これは液晶パネルの特性によるもので故障あるいは不良ではありません。

パーツリスト

本製品は、下記の部品で構成されています。取付前に異品・欠品のないことを確認してください。

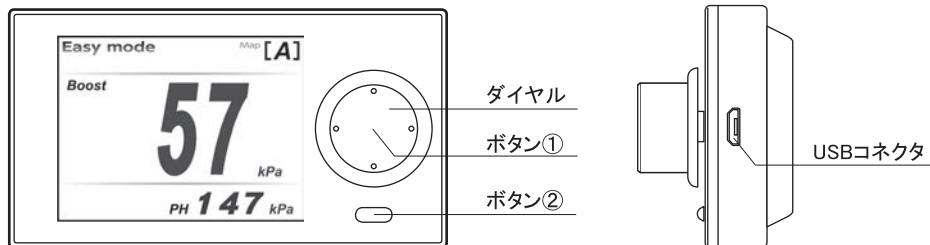
			
1 ディスプレイユニット	2 バルブユニット	3 メインハーネス	4 電源ハーネス
1	1	1	1
			
5 入力信号ハーネス	6 φ4ホース	7 φ6ホース	8 スリーウェイ
1set	18003-AK001 1	18003-AK002 1	18006-AK001 1
			
9 エアフィルタ	10 スプライス	11 両面テープ	12 バルブ取付けセット
φ6……4599-RA016 φ4……4599-RA017 各1	3	1	1set
			
13 タイラップ	14 取扱説明書	15 ロゴシール	
5	1	1	

- 取付けに使用しなかったパーツは、大切に保管してください。
- 取付けに必要な工具……テスター・ドライバー・ソケットレンチ・ニッパー・プライヤ又はペンチ。
- 上記パーツリストの部品名の下欄の数字はコードNo.を示しています。部品を発注する際には、このコードNo.をお伝えください。

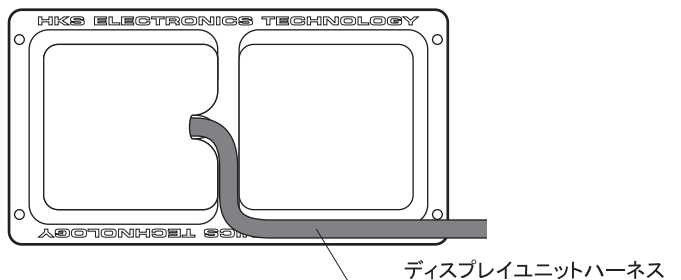
1. 各部の名称と働き

◆ディスプレイユニット

フロントパネル



リアパネル



名称	働き
ダイヤル	ダイヤルを左右に回すことによりメイン画面表示時はマップの切り替え、設定画面時は各項目の選択、設定値の変更を行います。
ボタン①	ダイヤルは押すことによりボタンとして機能します。メイン画面表示時は短く押すことによりスクランブル機能が作動、長押しでバルブ制御値変更モードに移行し制御値変更後は短く押して決定します。その他の設定画面でも短く押すことにより設定値変更の決定を行います。
ボタン②	メイン画面表示時は短く押すとMENU画面への切り替え、各設定画面で短く押すと上位画面へ移行しメイン画面まで戻ります。更に各設定画面で設定値を変更中に短く押すとキャンセルされます。 メイン画面表示時に長押しするとピークホールド値リセットモードに切り替わります。更にボタン①を短く押すとリセットされます。リセットモード中にボタン②を短く押すとリセットはキャンセルされます。
USBコネクタ	Easy Writerを接続するMicroBコネクタです。
ディスプレイユニットハーネス	メインハーネス、電源ハーネス及び各入力信号ハーネスとディスプレイユニットを接続するためのハーネスです。

◆表示部(メイン画面)

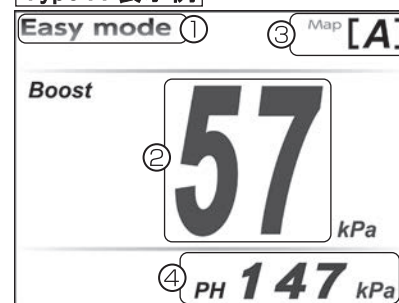
メイン画面は Type A と Type B の 2 種類があります。

Type A: ブーストの値を大文字で表示します。

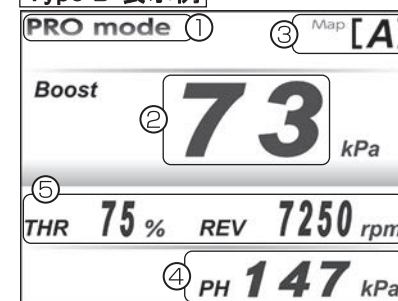
Type B: ブーストの値を中文字で表示し、下段にマップ補正用入力信号の値を表示します。

※ マップの軸で選択されている入力信号のみ表示します。

Type A 表示例

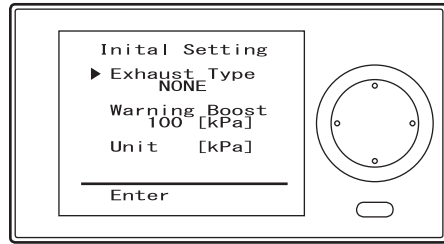


Type B 表示例



	名称	働き
①	動作モード	Easy mode と PRO mode の 2 種類の動作モードがあります。
②	ブースト圧	現在のブースト圧を表示します。
③	ブースト設定	バルブ制御値 Map [A] ~ [D] から選択します。 [OFF] で EVC 機能は停止、ノーマルブーストに復帰します。
④	ブースト圧のピークホールド値	過去の最大ブースト圧を記憶・表示します。
⑤	入力信号の値	スロットル信号、回転又は車速信号を入力した場合に入力値を表示します。

初期設定画面

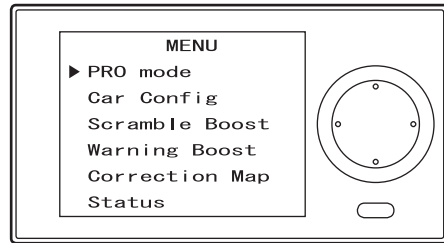


ご購入後、初回起動時のみ初期設定画面が表示されます。
排気バイパスタイプ、ワーニングブースト値、単位を設定後、Enterを選択してボタン①を短く押してください。

Exhaust Type: 排気バイパスタイプ
Warning Boost: ワーニングブースト値
Unit: 単位

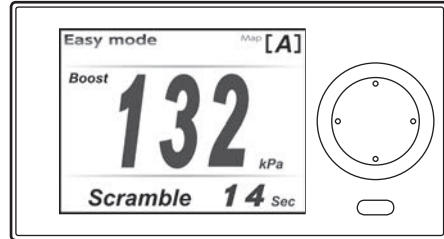
※ 排気バイパスタイプは初期設定画面でのみ設定できます。変更する場合は本体のオールリセットが実行されます。

メニュー画面



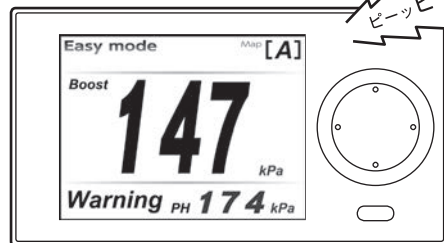
ダイヤル、ボタン①、ボタン②の操作により各種設定を行います。

スクランブル機能作動時



「Scramble」と残りのスクランブル時間が表示されます。

ワーニング機能作動時



内蔵ブザーが鳴り、「Warning」とブースト圧が赤字で表示されます。

2. 取付け方法

1. バッテリターミナルの取外し…………… 12
2. 配管方法…………… 12
 2. 1. バルブユニット及びφ4ホースの配管…………… 12
 2. 2. スイングバルブタイプの取付け…………… 14
 2. 3. ポペットバルブタイプの取付け…………… 18
 2. 4. ツインターボ車の取付け(スイングバルブ)…………… 20
 2. 5. φ4ホース配管車の取付け(スイングバルブ)…………… 21
3. 配線方法…………… 22
4. 固定方法…………… 23
5. 取付け後の作業…………… 24

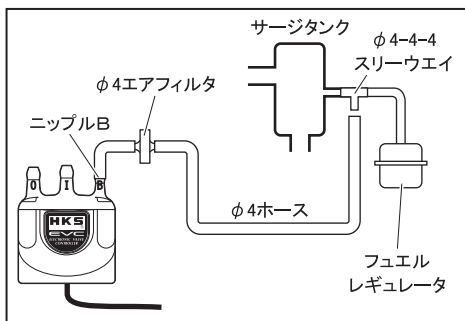
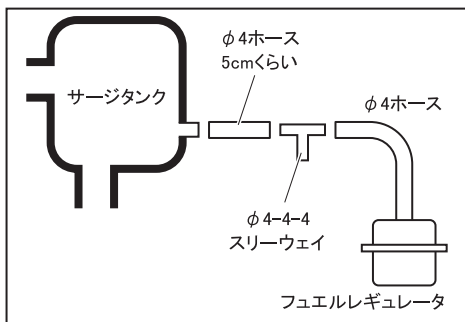
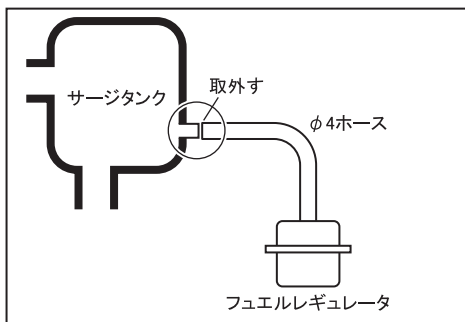
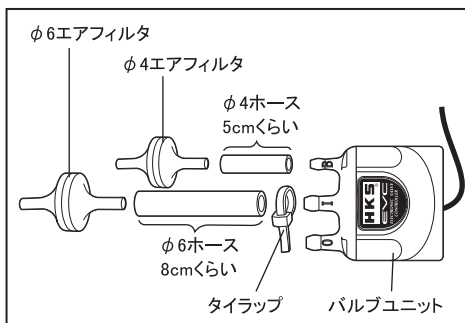
警告

●本製品は、DC12Vマイナスアース車両専用です。24V車両には取付けないでください。
火災の原因となります。

●本書は基本の形を説明したものです。実際は車種によって取付け方法が異なります。

1. バッテリターミナルの取外し
(1) バッテリーのマイナス端子のターミナルを取外してください。
2. 配管方法
(1) 構成パーツ(ホース・ハーネスの長さ)を考慮して、ディスプレイユニット及びバルブユニットの取付け可能なレイアウトを決めてください。
アドバイス
 - ハーネス・ホースが本製品を引張らないように余裕を持たせてください。
 - ディスプレイユニット
周囲温度: 65°C以下および直射日光の当たらない場所での使用を推奨します。
 - バルブユニット
周囲温度: 85°C以下での使用を推奨します。
裏ぶたを上にした設置は避けてください。

2. 1. バルブユニット及びφ4ホースの配管



- (1) φ4及びφ6ホースを図のように切断し、切断したホースとφ4・φ6エアフィルタをバルブユニットに取付けてください。

アドバイス

- ・エアフィルタ同士がぶつからないようホースの長さを変えて切断してください。
- ・ホース・エアフィルタにオイル・潤滑剤等を付着させないでください。

- (2) フュエルレギュレータに接続されているφ4ホースをサージタンク側で取外してください。

- (3) 付属のφ4ホースを5cmくらいに切断し、そのφ4ホースとスリーウェイを左図のように取付けてください。

- (4) 残りのφ4ホースを使用してスリーウェイとバルブユニットのニップルBのφ4エアフィルタの間を左図のように接続してください。

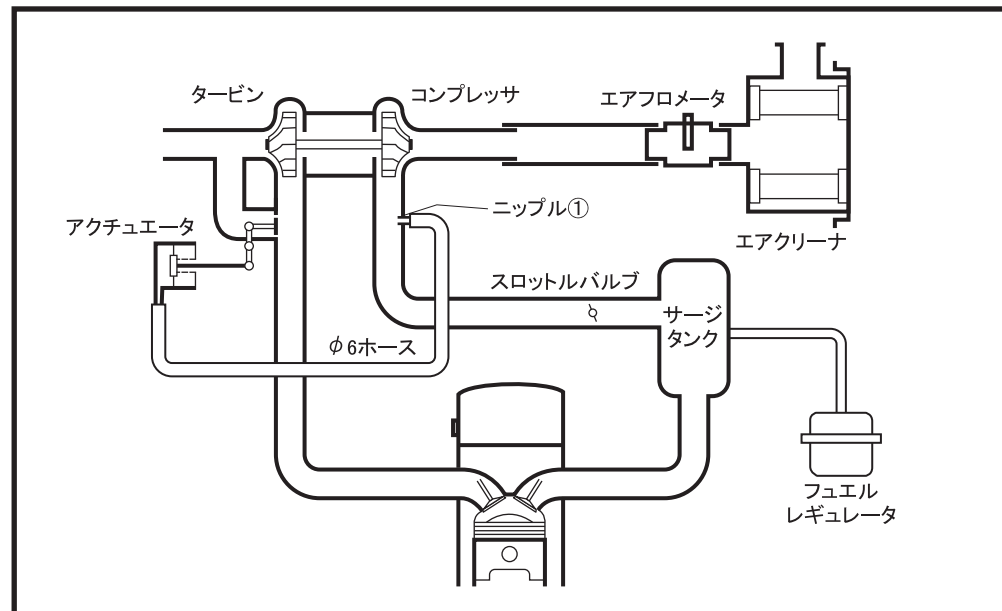
アドバイス

- ・ホースはできるだけ短くしてください。
- ・ホース・エアフィルタにオイル・潤滑剤等を付着させないでください。
- ・オイル・水等が混入しないように、バルブユニットはニップルを上に向けて固定してください。

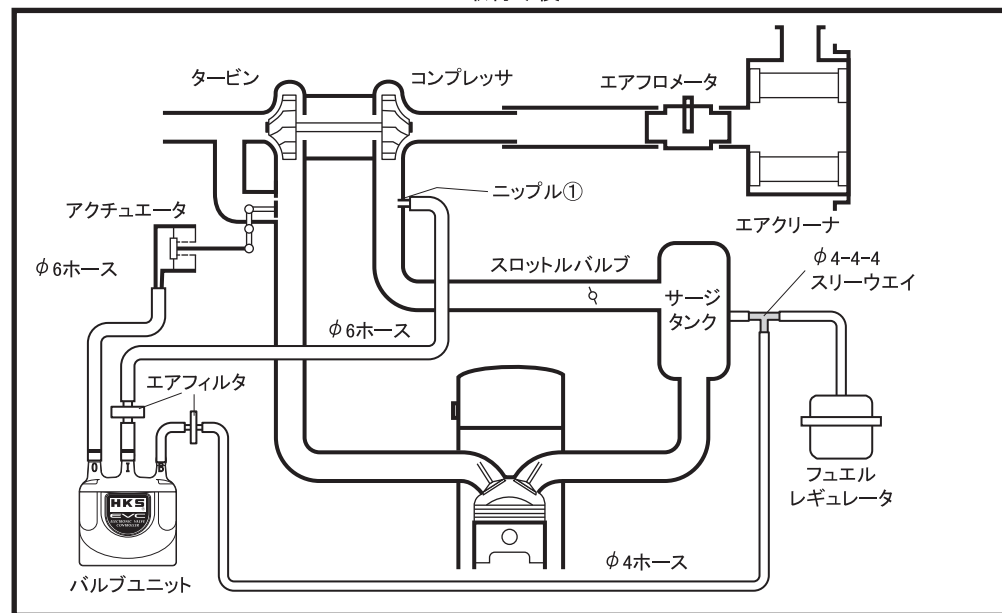
2. 2. スイングバルブタイプの取付け

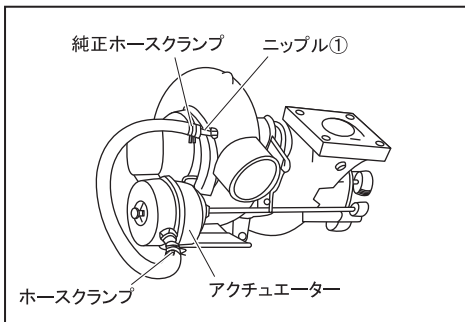
2. 2. 1. 過給圧制御ソレノイドバルブなしの場合

取付け前(ノーマル配管例)



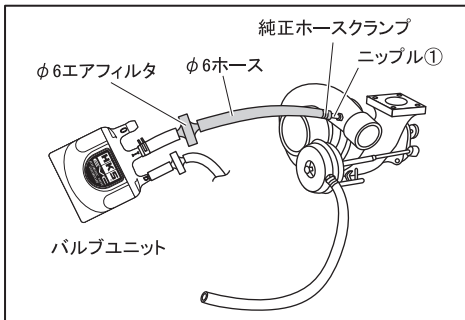
取付け後



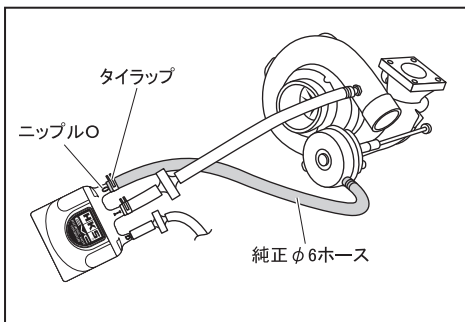


(1) アクチュエータに接続しているホースをコンプレッサ側のニップル①から取外してください。

- ・コンプレッサ側のニップル①の位置は車種によって異なります。
- ・純正ホースクランプは再使用します。



(2) 付属のφ6ホースでニップル①とバルブユニットのニップルIのφ6エアフィルタを接続してください。



(3) アクチュエータに接続されている純正ホースをバルブユニットのニップルOに取付けてください。

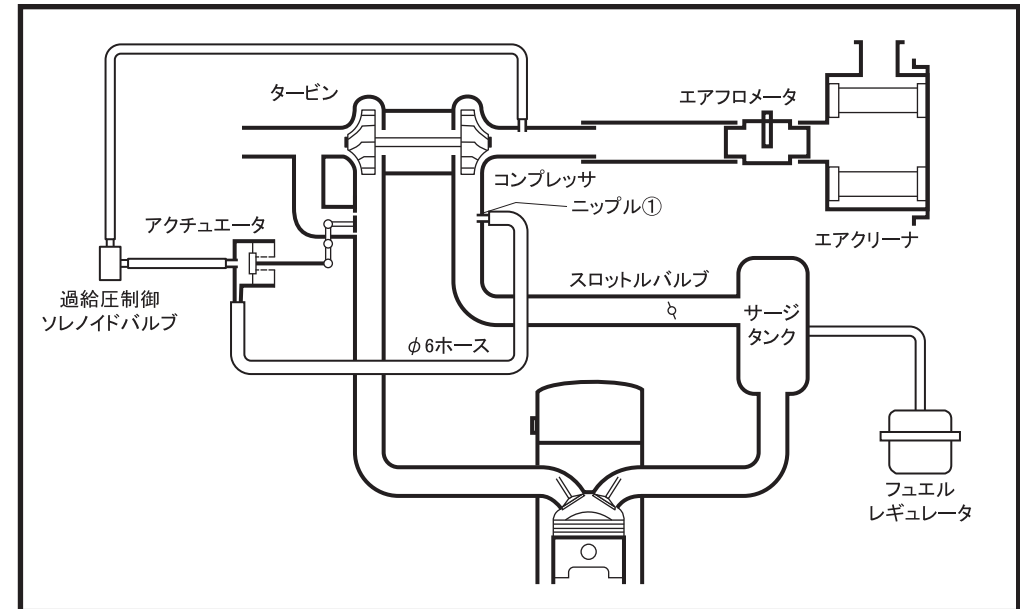
アドバイス

- ・ホース・エアフィルタにオイル・潤滑剤等を付着させないでください。
- ・φ6ホースとφ6ニップルを接続するときは、タイラップを必ず使用してください。
- ・車種により純正ホースの長さが不足する場合があります。この場合、お手数ですが耐油ホースを別途お買い求めの上ご利用ください。

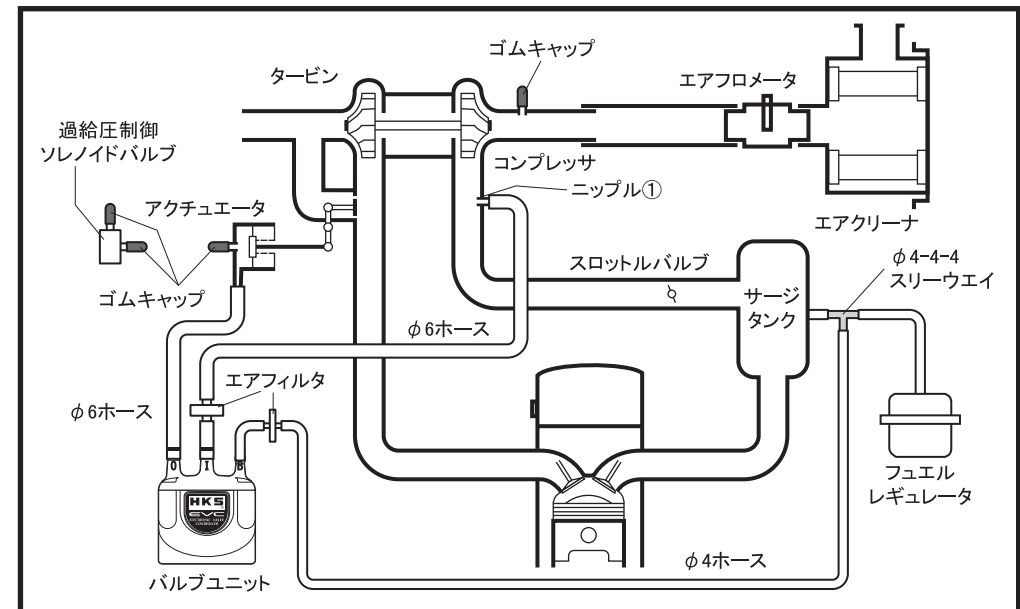
2. 2. 2. 過給圧制御ソレノイドバルブ装着車の場合の取付け例1

- 過給圧制御ソレノイドバルブが装着されている車両は、コネクタ、又はホースを抜いて機能を解除してください。別途ゴムキャップが必要です。

取付け前(ノーマル配管例)



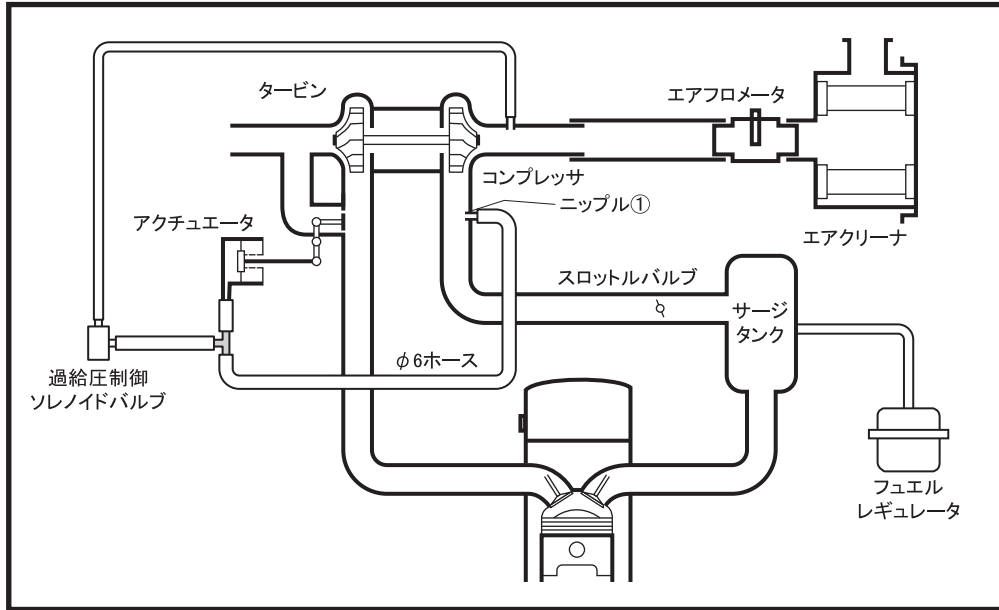
取付け後



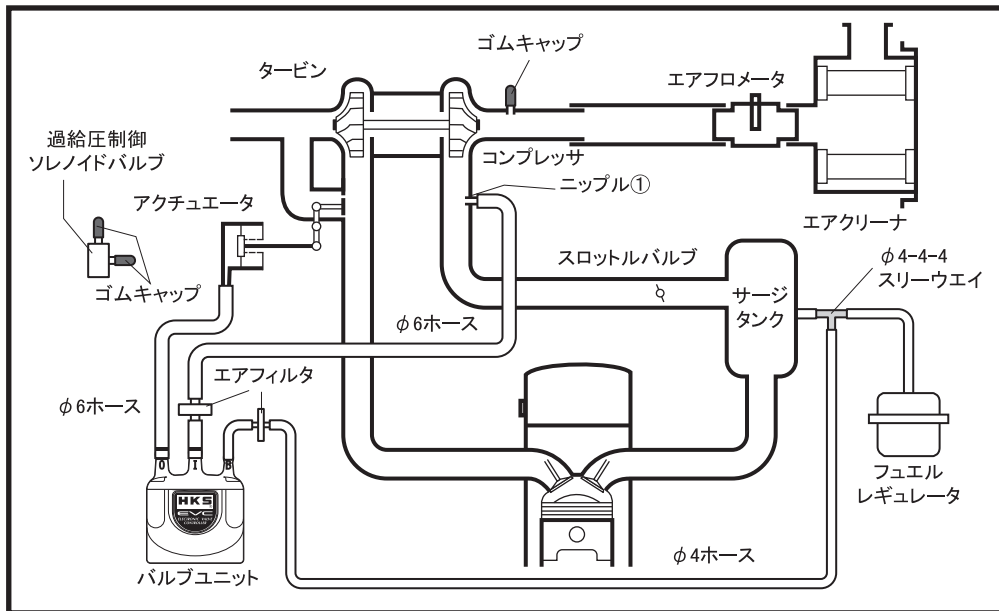
2. 2. 3. 過給圧制御ソレノイドバルブ装着車の場合の取付け例2

- 過給圧制御ソレノイドバルブが装着されている車両は、コネクタ、又はホースを抜いて機能を解除してください。別途ゴムキャップが必要です。

取付け前(ノーマル配管例)



取付け後

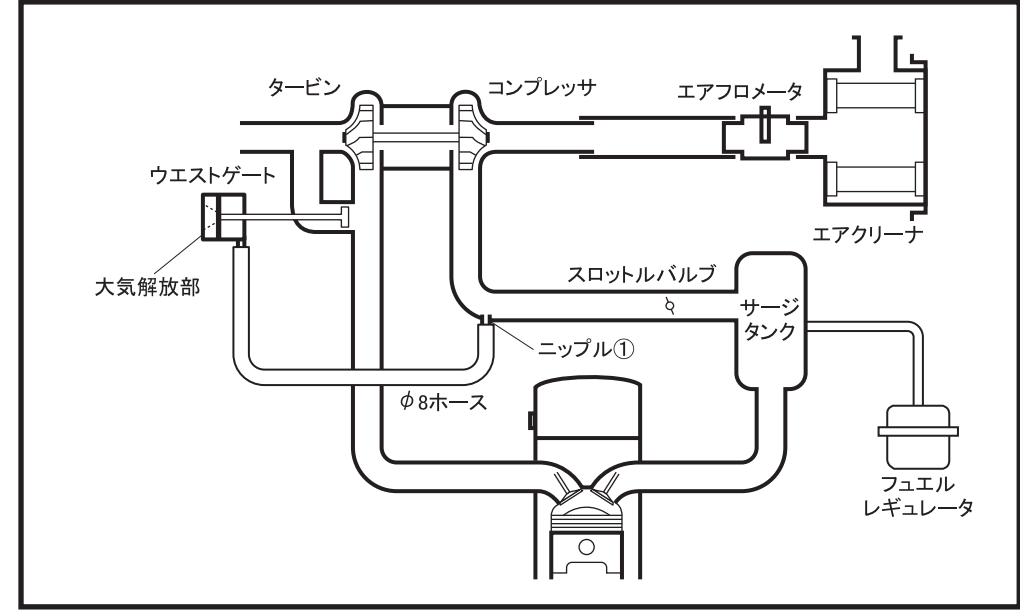


45003-AK013

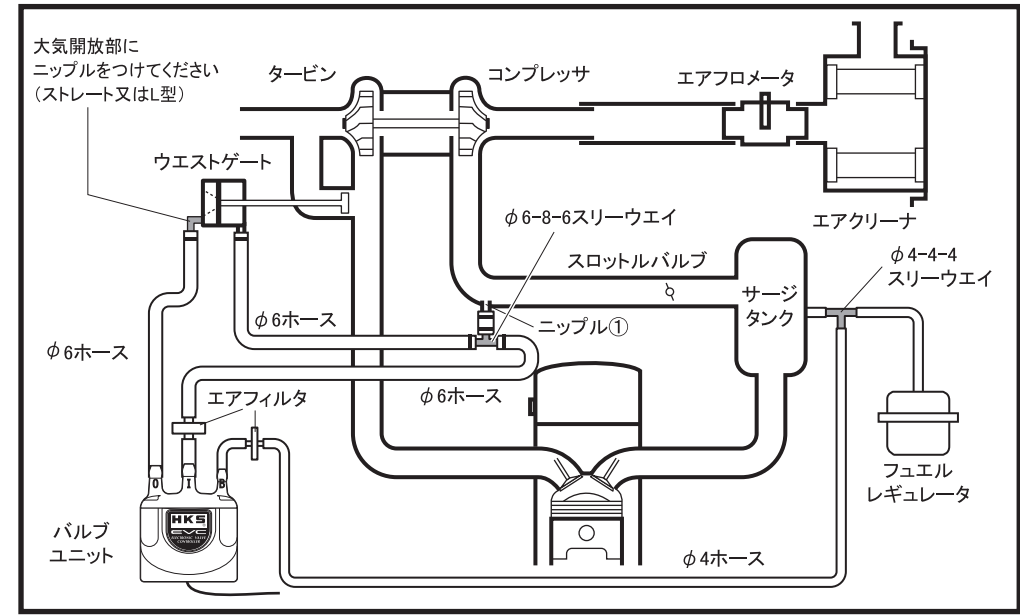
2. 3. ポペットバルブタイプの取付け

- ポペットバルブ車に取付ける場合は、φ6ホース、φ8ホース、φ6ホースクランプ、φ8ホースクランプ、φ6-8-6スリーウェイ、φ6ニップル(ストレート型又はL型)が別途必要です。

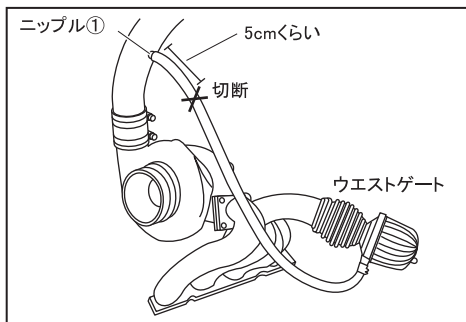
取付け前



取付け後

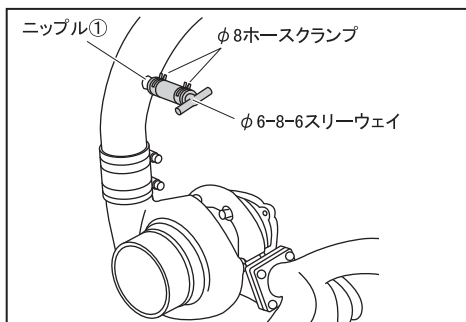


45003-AK013

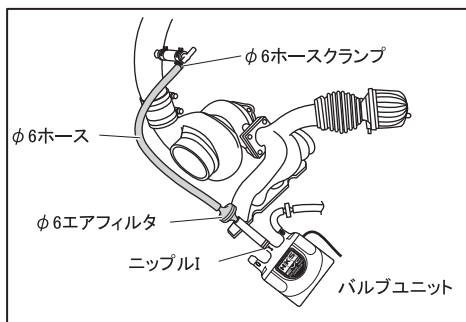


(1) ウエストゲートに接続しているφ8ホースをコンプレッサ側のニップル①から5cm程度残して切断し、ウエストゲート側のφ8ホースとウエストゲートのφ8ニップルを取外してください。

・コンプレッサ側のニップル①の位置は車種によって異なります。



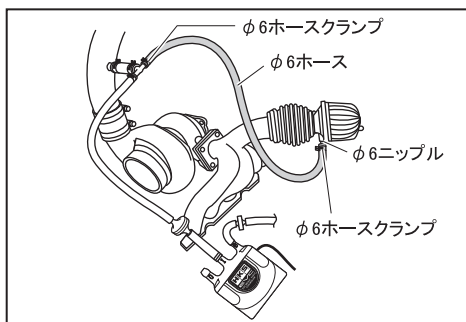
(2) φ6-8-6スリーブをφ8ホースクランプを使用して取付けてください。



(3) φ6ホースを使用してスリーブとバルブユニットのニップル1のφ6エアフィルタを接続してください。

アドバイス

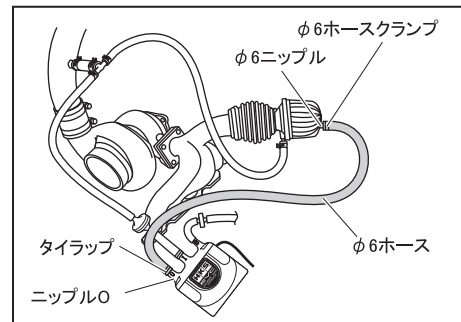
・ホース・エアフィルタにオイル・潤滑剤等を付着させないでください。



(4) ウエストゲートのφ8ニップルを取外した箇所にφ6ニップル(ストレート型又はL型)を取付けてください。

(5) φ6ホースを左図のように取付けてください。

φ8ホースとφ8ニップル、φ6ホースとφ6ニップルを接続するときは、ホースクランプを必ず使用してください。

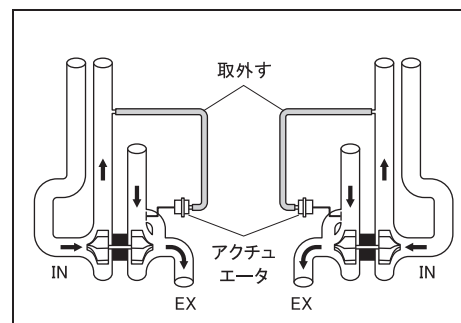


(6) φ6ニップル(ストレート型又はL型)をウエストゲートの大気開放部に取付けてください。

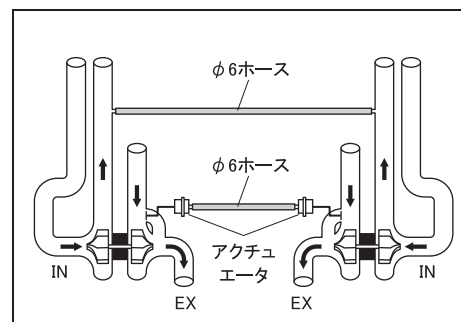
(7) (6)で取付けたφ6ニップルとバルブユニットのニップル0をφ6ホースで接続してください。

2. 4. ツインターボ車(スイングバルブ)の取付け

●ツインターボ車に取付ける場合には、別売の「ツインターボ車用ホースセット」が必要です。基本的な作業は、スイングバルブタイプの場合(本書14ページ参照)と同じです。



(1) それぞれのターボチャージャーのコンプレッサとアクチュエータの間の純正ホースを取外してください。

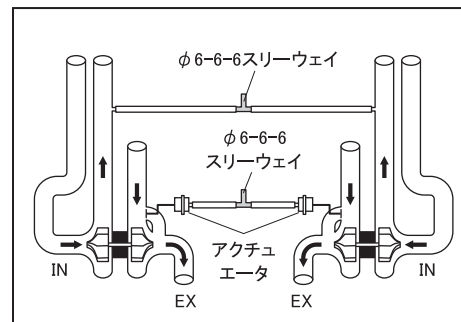


(2) 2つのターボチャージャーのアクチュエータとアクチュエータをφ6ホースで接続してください。

(3) 2つのターボチャージャーのコンプレッサとコンプレッサをφ6ホースで接続してください。

アドバイス

・φ6ホース及びφ6ホースクランプは、「ツインターボ車用ホースセット」内のものを使用してください。

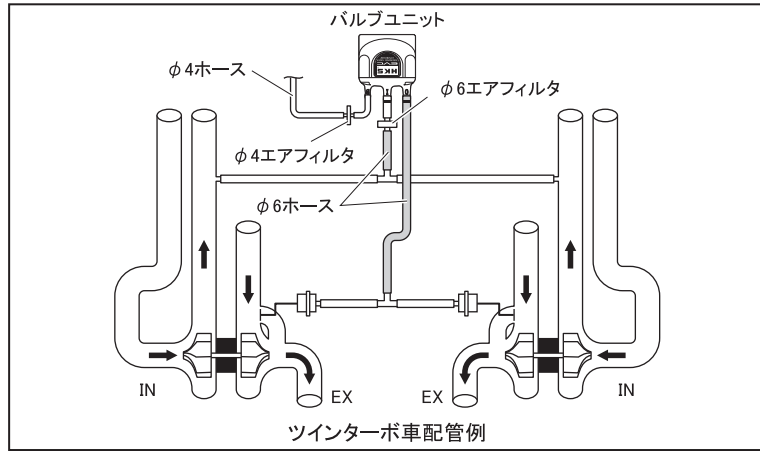


(4) 接続したφ6ホースのそれぞれの中央を切断し、φ6-6-6スリーブを挿入してください。

アドバイス

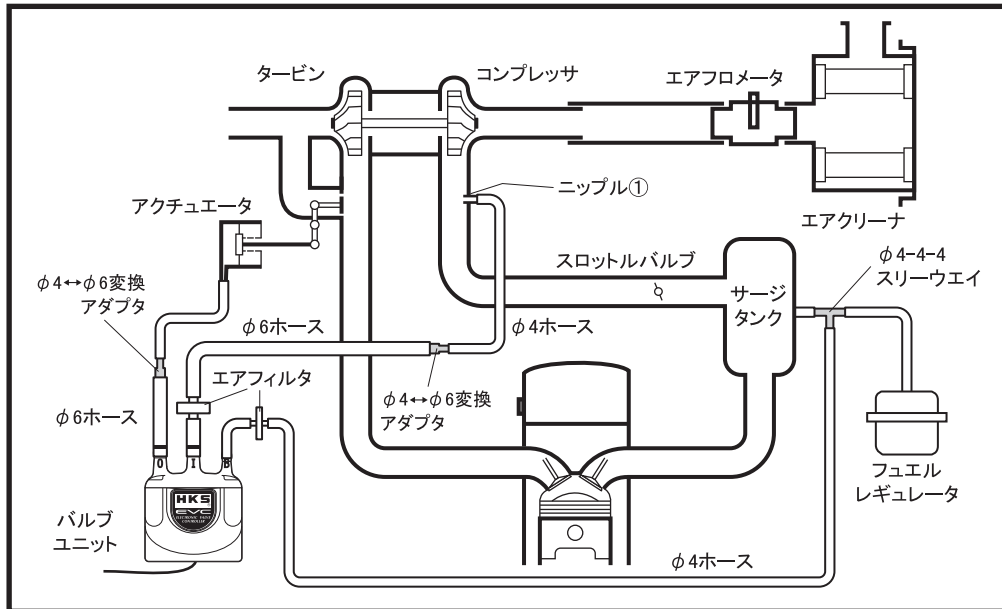
・φ6ホースクランプは、「ツインターボ車用ホースセット」内のものを使用してください。

(5) この後の作業は、2. 2. スイングバルブタイプの取付け(本書14ページ)を参照してください。



2. 5. φ4ホース配管車(スイングバルブ)の取付け

● φ4 ホース配管車には、別売の「φ4 ホースセット」が必要です。基本的な作業はスイングバルブタイプの取付け(本書14ページ参照)と同じです。



(1) 付属のφ6ホースを使用するところを、「φ4ホースセット」内のφ4ホースを使用して配管してください。

(2) φ6エアフィルタとの接続は、「φ4ホースセット」内のφ4⇔φ6変換アダプタを使用してφ6ホースで配管してください。

アドバイス

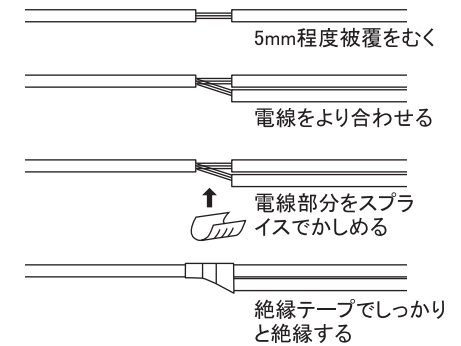
- φ6ホースは本製品に付属のものを使用してください。
- ホース・エアフィルタにオイル・潤滑剤等を付着させないでください。

45003-AK013

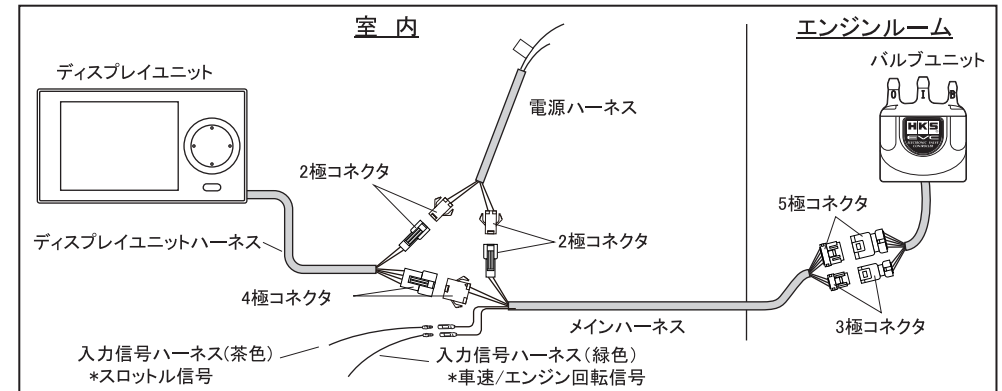
3. 配線方法

3. 1. スプライスの使用方法

- ① 配線を行う電線の被覆を5mm程度むきます。
- ② 電線の被覆をむいた箇所に電線を二重折りし、より合わせます。
- ③ よった線の上からスプライスでしっかりとかしめます。
- ④ ショートしないように絶縁テープ(ビニールテープ)でしっかりと絶縁します。



3. 2. 配線



[エンジンルーム側]

(1) バルブユニットとメインハーネスの3極・5極コネクタをそれぞれ接続してください。

[室内側]

- (2) メインハーネスの2極・4極コネクタ側をエンジンルームから室内に引き込み、ディスプレイユニットハーネスの4極コネクタに接続してください。
- (3) ディ스플레이ユニットハーネスとメインハーネスの2極コネクタを、電源ハーネスの2極コネクタに接続してください。
- (4) IG線(イグニッション線)に電源ハーネスの赤線をスプライスで接続してください。
- (5) GND線(アース線)に電源ハーネスの黒線をスプライスで接続してください。

[マップ補正機能を使用する場合]

- (6) ECUにつながっている車両ハーネスのスロットル信号線とエンジン回転信号線または車速信号線の位置を確認し、入力信号ハーネスの茶色線をスロットル信号線に、緑色線をエンジン回転信号線または車速信号線に接続してください。

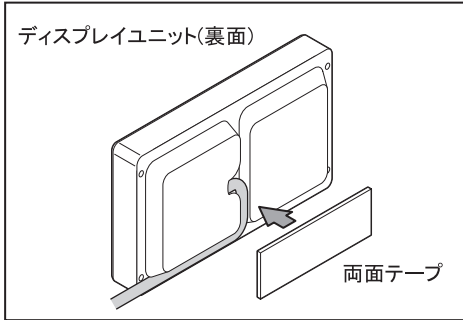
アドバイス

- HKS SLD/VAC(スピードリミッタ解除装置)等が装着されていて車速信号を使用する場合は、その装置よりも車両ハーネス側に入力信号ハーネスの緑色線を接続してください。
- 使用しない信号線は接続する必要はありません。

45003-AK013

4. 固定方法

4. 1. ディスプレイユニットの取付け

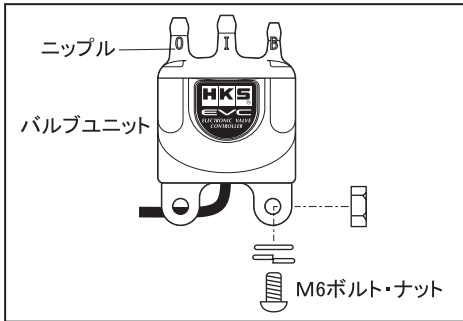


- (1) 取付け位置の汚れ(ほこりや油分等)を中性洗剤等で取除いてください。
- (2) 両面テープを使用してディスプレイユニットを固定してください。
ディスプレイユニットは左右を反転して使用することが可能です。操作のしやすい向きを選択してください。表示部の向きは本製品起動後に変更します。

アドバイス

- ・ディスプレイユニットの表示部は、構造上表示が見えづらくなる角度があります。使用する際に表示がはっきりと見える角度に取付けてください。

4. 2. バルブの取付け



- (1) M6のボルト・ナットを使用して取付けてください。締付けトルク 5.2 [N・m]

⚠ 注意

- オイル・水等が混入しないように、バルブユニットはニップルを上に向けて固定してください。
- 裏ぶたを上にした設置はしないでください。

4. 3. ホース・ハーネスの固定

- (1) ホース・ハーネスを付属のタイラップを使用して固定してください。

アドバイス

- ・エンジンの振動や揺れを吸収できるように余裕を持たせてください。

5. 取付け後の作業

- (1) 取外した純正部品を元通りに取付けてください。
- (2) バッテリのマイナス端子のターミナルを元通りに取付けてください。

取付け終了後の確認

本製品の取付け後、下記の項目に従って、取付け作業に間違いのないことを確認してください。

1. エンジン始動前の確認

確認項目	確認
ホースの配管が間違っていないか。	
ホースに緩みはないか。	
ホースが切れたり、裂けたりしていないか。	
ホースクランプがついているか。	
ボルト・ナット類を締め忘れていないか。	
ホース・ハーネス及び取付けた部品が、他の部品等と干渉していないか。	
ホース・ハーネスは確実に固定されているか。	
配線の接続箇所は間違っていないか。	
コネクタ・スプライスは確実に接続されているか。	
スプライスは指定のものを使用し、確実にかしめてあるか。	
本製品及び付属品が、運転の妨げにならないように確実に固定されているか。	
バッテリーのマイナス端子のターミナルが元通りに取付けてあるか。	
過給圧制御ソレノイドバルブが解除されているか。	

2. エンジン始動後の確認

アドバイス

- ・始動直後は、エンジンの回転を上げないようにしてください。(アイドル運転)

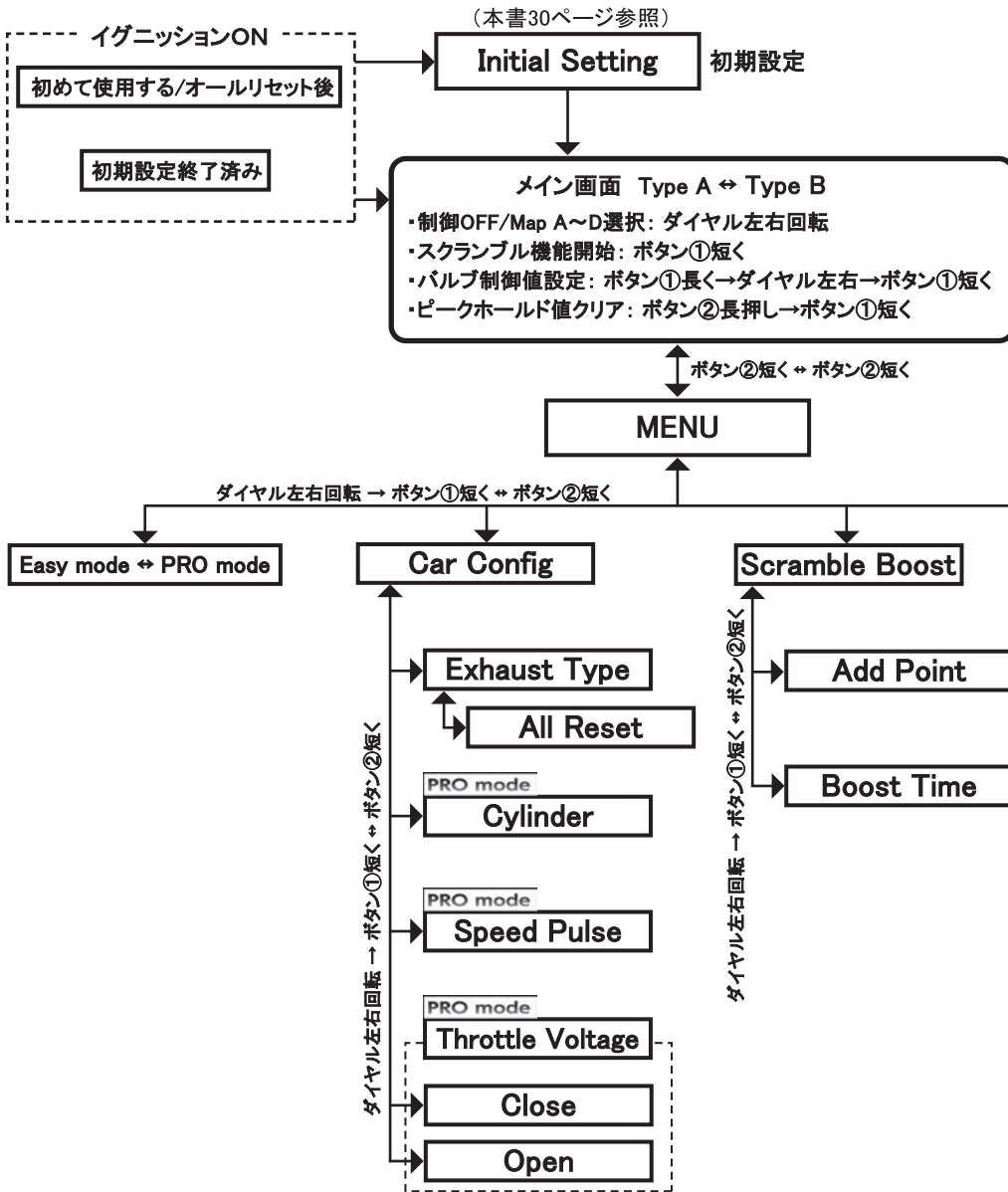
確認項目	確認
各部からエアがもれていないか。	
軽く空吹きを2、3回行った際、エアがもれていないか。	
部品による干渉音がないか。	
ホース・ハーネスが引張られていないか。	
エンジンを停止した後、各部が緩んでいないか。	

EVC

操作方法

操作方法

操作概要図	27
1. 初めてのご使用の際は	28
2. メイン画面	29
3. 初期設定	30
4. バルブ制御値 Point設定	30
ブーストの設定を行う	
5. ピークホールド値クリア	30
記憶された過去の最大ブースト値を消去する	
6. メニュー画面設定	31
設定項の目選択を行う	
7. Easy mode と PRO modeの切替え	31
メイン画面の表示タイプを変更する	
8. 車両設定	31
車両ごとの設定を行う	
9. スクランブル機能設定	32
スクランブルブースト値の設定を行う	
10. ワーニング機能設定	33
ワーニング値の設定を行う	
11-1. マップ補正設定	33
補正Pointの設定を行う	
11-1. データロック設定	34
暗証番号などの設定を行う	
12. ステータス設定	35
EVC7の基本的な状態の設定を行う	

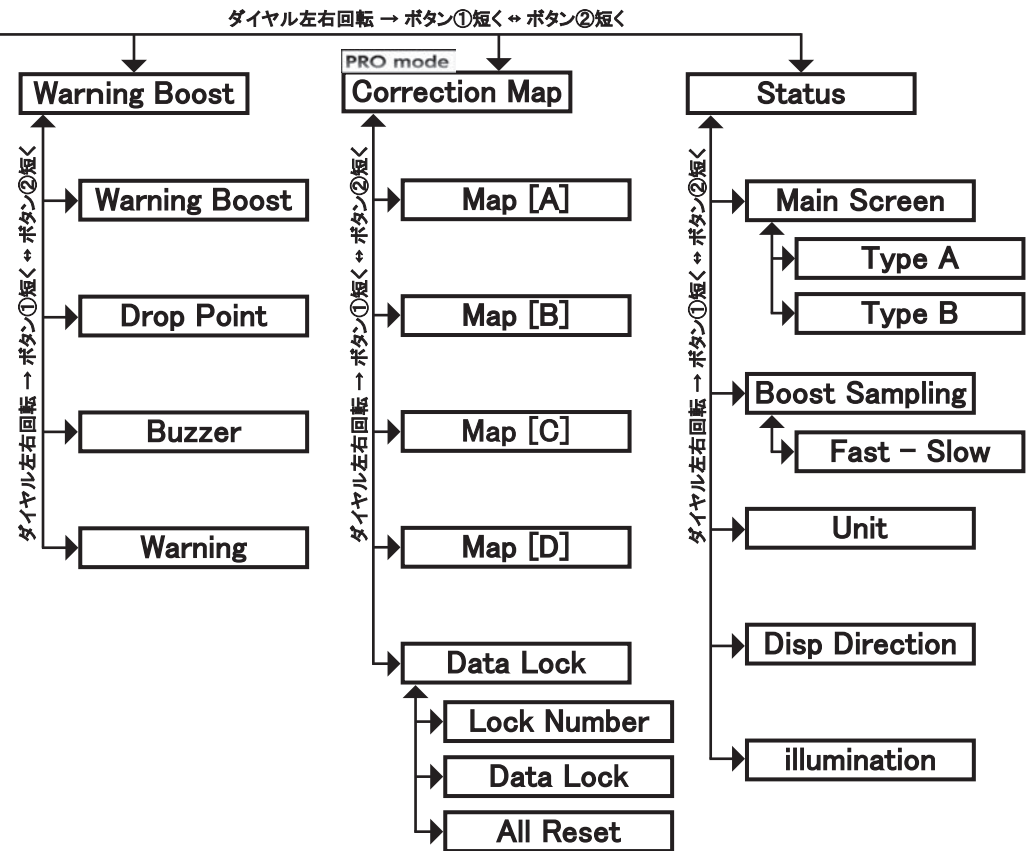
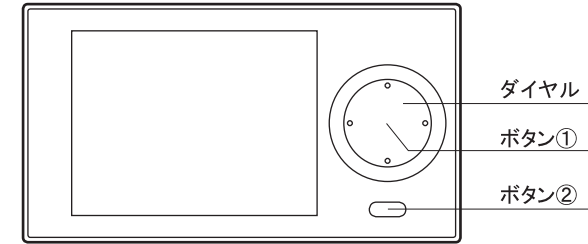


PRO mode

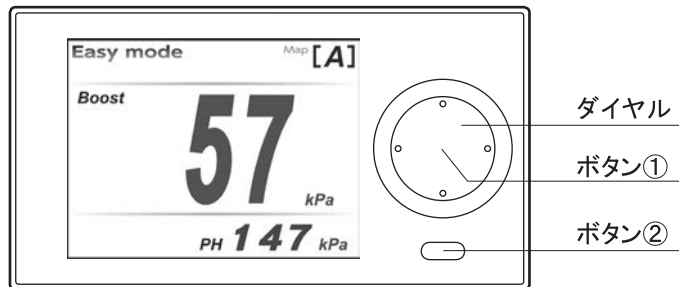
※このラベルはPRO modeのみ表示・選択できる設定画面を表します。

1. 初めてご使用の際は…

- お買い上げ後初めて使用する、もしくはディスプレイユニットでオールリセットを行った後にイグニッションONすると、初期設定画面が表示されます。排気パイパスタイプ、ワーニングブースト値、単位を設定してください。初期設定を終了し一度でも[メイン画面]を表示させると、次回イグニッションON時には起動画面が表示された後に、[メイン画面]が表示されます。



2. メイン画面



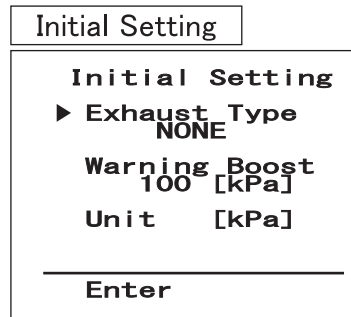
名称	働き
ダイヤル	ダイヤルを左右に回すことによりメイン画面表示時はマップの切り替え、設定画面時は各項目の選択、設定値の変更を行います。
ボタン①	ダイヤルは押すことによりボタンとして機能します。メイン画面表示時は短く押すことによりスクランブル機能が作動、長押しでバルブ制御値変更モードに移行し制御値変更後は短く押して決定します。その他の設定画面でも短く押すことにより設定値変更の決定を行います。
ボタン②	メイン画面表示時は短く押すとMENU画面への切り替え、各設定画面で短く押すと上位画面へ移行しメイン画面まで戻ります。更に各設定画面で設定値を変更中に短く押すとキャンセルされます。 メイン画面表示時に長押しするとピークホールド値リセットモードに切り替わります。更にボタン①を短く押すとリセットされます。リセットモード中にボタン②を短く押すとリセットはキャンセルされます。

※ 各項目で設定、決定した全ての値・状態などは、ブーストが 0 [kPa/PSI] 以下になった時点でバルブユニットに記憶されます。これはエンジンが停止かアイドリングの状態です。

3. 初期設定

初期設定を行います。

初期設定画面



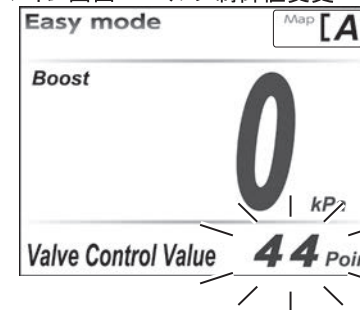
ご購入後、初回起動時のみ初期設定画面が表示されます。排気バイパスタイプ、ワーニングブースト値、単位を設定し、Enterを選択してください。

- ▶ Exhaust Type:
排気バイパスタイプ SWING ↔ POPET
- ▶ Warning Boost:
ワーニングブースト値 10~300 [kPa]
- ▶ Unit:
圧力単位 [kPa] ↔ [PSI]

※ 排気バイパスタイプは初期設定画面のみ設定できます。

4. バルブ制御値 Point設定

メイン画面 + バルブ制御値変更



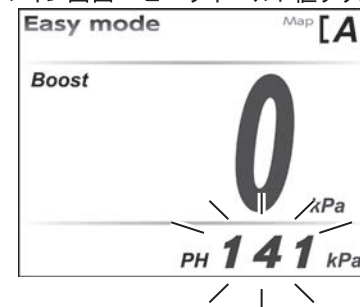
ブーストの制御は、バルブ制御値(Valve Control Value)のPointの増減で行います。Pointを増やすとブーストが上がり、Pointを減らすとブーストが下がります。設定するPointの値は車両により異なりますので、少しずつPointを増やし実車の状態を確認しながら決定してください。

メイン画面表示の時、ダイヤルを回してMap[A]~[D]を選択しボタン①を長押しでバルブ制御値変更エリアを表示。ポイント数が点滅します。ダイヤルを回し数値を変更後、ボタン①を短押しで決定しメイン画面だけの表示に戻ります。Map[A]~[D]まで4つの制御値を入力できます。設定後はダイヤルを回してMapを選択してください。

Valve Control Value: バルブ制御値 0~300 [Point]

5. ピークホールド値クリア

メイン画面 + ピークホールド値クリア



メイン画面表示の時、ボタン②を長押しするとピークホールド値が点滅します。更にボタン①を短押しすると値がクリアされ点滅が終了し完了です。

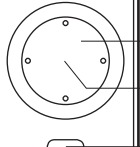
6. メニュー画面設定

MENU

メニュー画面操作方法

MENU

- ▶ Easy mode
- Car Config
- Scramble Boost
- Warning Boost
- Correction Map
- Status



ダイヤル

ボタン①

ボタン②

- ・メイン画面表示の時、ボタン②を短押しでメニュー画面へ移行します。
- ・ダイヤルで項目変更・数値変更し、ボタン①を短押しで決定します。
- ・メニュー画面表示の時、ボタン②を短押しでメイン画面に戻ります。

7. Easy mode と PRO mode の切替え

Easy mode ↔ PRO mode

MENU

- ▶ Easy mode
- Car Config
- Scramble Boost
- Warning Boost
- Correction Map
- Status

↔

MENU

- ▶ PRO mode
- Car Config
- Scramble Boost
- Warning Boost
- Correction Map
- Status

▶ Easy mode: マップ補正なし ▶ PRO mode: マップ補正あり

- ・ダイヤルでメニュー項目から選択し、ボタン①を短押しで切替えます。

8. 車両設定

Car Config

Car Config

- ▶ Exhaust Type
SWING

Cylinder 4

Speed Pulse 4

Throttle Voltage

Close 500 [mV]

Open 4500 [mV]

Current 2400 [mV]

▶ Exhaust Type:
排気バイパスタイプ設定 SWING ↔ POPET

※ Change Exhaust Type? 画面にてAll Resetを2回選択後、All Resetが実行され初期設定画面に移ります。全ての設定がクリアされた後、排気バイパスタイプの設定が行なえます。

Change Exhaust Type?

[SWING] now

Cancel

▶ All Reset

After all reset.
Exhaust type
can be changed.

Car Config

Car Config

Exhaust Type
SWING

▶ Cylinder 4

Speed Pulse 4

Throttle Voltage

Close 500 [mV]

Open 4500 [mV]

Current 2400 [mV]

- ▶ Cylinder (PRO mode専用):
気筒数設定 (1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 8)
- ▶ Speed Pulse (PRO mode専用):
車速パルス数設定 (2 / 4 / 8 / 16)
日産車は2パルス(一部16パルス)、その他の国産車は4パルスになります。車両のスピードメーター表示に合うように設定してください。

Throttle Voltage

- ▶ Close (PRO mode専用):
スロットルクローズ時の電圧設定 0~5000 [mV]
- ▶ Open (PRO mode専用):
スロットルオープン時の電圧設定 0~5000 [mV]
Current: 現在のスロットル電圧 (PRO mode専用)

CloseまたはOpenが選択されている時(数字が赤バックの時)、ボタン①を長押しすると現在のスロットル電圧が反映されます。エンジン停止状態でアクセルをオープン/クローズ操作して電圧を反映させると楽に設定できます。

9. スクランブル機能設定

Scramble Boost

Scramble Boost

- ▶ Add Point
0 [Point]

Boost Time
0 [Sec]

- ▶ Add Point:
スクランブルブースト時の加算Point設定 0 ~ 300 [Point]
- ▶ Boost Time:
スクランブルブーストを継続する時間設定 0 ~ 60 [Sec]

※ 総合バルブ制御値 = バルブ制御値(Valve Control Value) + Add Point

スクランブル作動時

Easy mode Map [A]

Boost

132

kPa

Scramble 14 Sec

- ・メイン画面表示の時、ボタン①を短押しでスクランブルブーストを開始します。
- ・カウントダウンを開始し、カウントが "0" になると通常動作にもどります。

10. ワーニング機能設定

Warning Boost

Warning Boost

▶ **Warning Boost**
100 [kPa]

Drop Point
-100 [Point]

Buzzer ON

Warning ON

- ▶ Warning Boost:
ワーニングブースト値設定 10 ~ 300 [kPa]
- ▶ Drop Point:
ワーニング時の減算Point設定 -300 ~ 0 [Point]

※ **総合バルブ制御値 = バルブ制御値(Valve Control Value) + Drop Point**

- ▶ Buzzer:
ワーニング発生時のブザー音設定 ON ↔ OFF
- ▶ Warning:
ワーニング検出設定 ON ↔ OFF



ピーピーピーピーツ...
ワーニング作動時

11-1. マップ補正設定

Correction Map

Correction Map

▶ **Map [A]**
Map [B]
Map [C]
Map [D]

Data Lock [OFF]

- ▶ Map [A] ~ [D] (PRO mode専用):
縦軸10 × 横軸10の格子による3次元Map [A] ~ [D] 4枚

縦軸にスロットル開度、横軸に回転数又は車速を設定できます。

- ・スロットル開度 0 ~ 100 [%]
- ・エンジン回転数 0 ~ 12000 [rpm]
- ・車速 0 ~ 500 [km]
- ・補正Point -300 ~ 300 [Point]

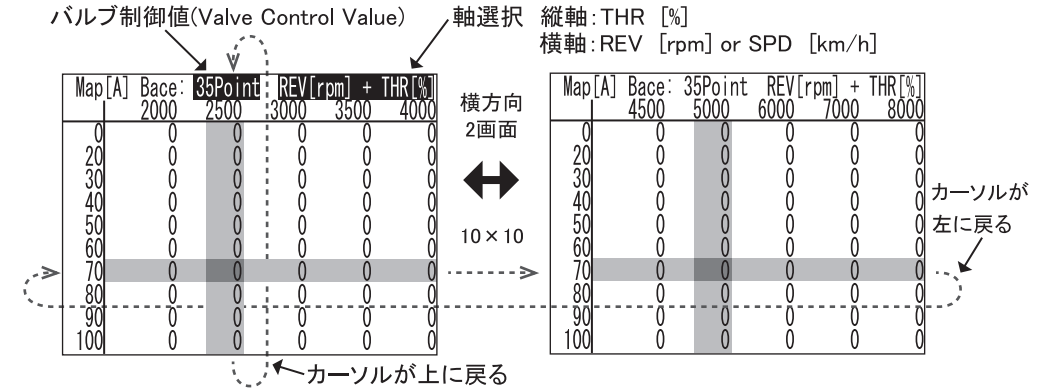
スロットル開度、回転数又は車速それぞれによる2次元マップも設定できます。

※スロットル信号線とエンジン回転信号線又は車速信号線を接続しないとマップ補正は機能しません。

ブーストマップ補正 [A] ~ [D]のイメージ 10 × 10の3次元Map

スロットル開度	回転数または車速									
	1000rpm	2000	3000	4000	5000	6000	7000	8000	9000	10000
1	0	30 Point	30	0	0	0	0	0	0	0
2	20	30	0	0	0	0	0	0	0	0
3	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	70	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	80	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	90	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0

- ▶ Map [A] ~ [D]: マップ補正設定方法 2画面を使って縦軸10 × 横軸10のマップを表示
- ・回転信号又は車速信号+スロットル信号を使い、バルブ制御値(Valve Control Value)を補正できます。



- ・ダイヤルを左に回すと縦方向(下)にカーソルが移動し、一番下まで行くと上に戻ります。
- ・ダイヤルを右に回すと横方向(右)にカーソルが移動し、一番右まで行くと左に戻ります。
- ・ボタン①を短く押してカーソルのクロス部分が選択され、数値又は軸が変更できます。
- ・再度ボタン①を短く押して決定します。

※ **総合バルブ制御値 [Point] = バルブ制御値(Valve Control Value) + 補正マップの Point**

アドバイス

設定した軸、補正Pointなどはボタン①を短く押して決定した後、そのままでは本体に記憶されません。ボタン②を短く押してメイン画面に戻ってください。その時点で記憶されます。ご注意ください。

11-2. データロック設定

Data Lock

Correction Map

Map [A]
Map [B]
Map [C]
Map [D]

▶ **Data Lock [ON]**

Map [A] ~ [D]は
選択できなくなる

- ▶ Data Lock [OFF] ↔ [ON]
4桁の任意の数字を入力しSetを選択することでData LockがONになり、マップ補正の閲覧ができなくなります。ロックされた状態でData Lock時の暗証番号を入力し、Setを選択するとData LockがOFFになり、マップ補正の閲覧が可能になります。

Data Lock

Lock Number

 1 2 3 4 **Set**

▶ **Data Lock [OFF]**
All Reset

アドバイス

ロックした4桁の暗証番号を忘れてしまった場合、All Resetで出荷状態に戻すことができます。

※ ただし全ての設定データが消去されます。

12. ステータス設定

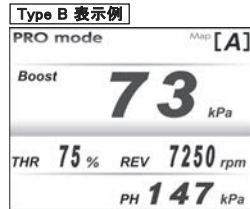
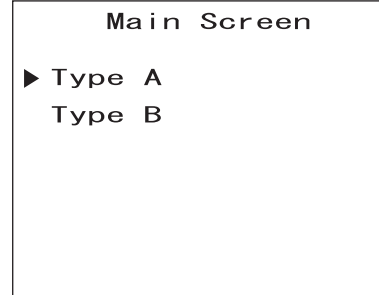
Status

Status

▶ Main Screen [A]
 Boost Sampling [4]
 Unit [kPa]
 Disp Direction [A]
 illumination [100]
 Soft Version
 Display: EVC7_D.003
 Valve: EVC7_V.003

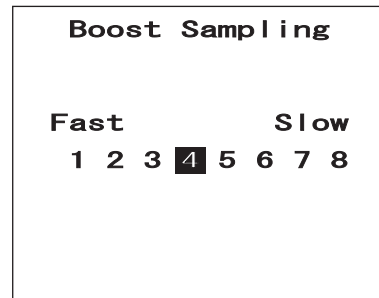
▶ Main Screen:

メイン画面は Type A と Type B の 2 種類があり選択します。
 Type A: ブーストの値を大文字で表示します。
 Type B: ブーストの値を中文字で表示し、下段にマップ補正用
 入力信号の値を表示します。
 ※ マップの軸で選択されている入力信号のみ表示します。



▶ Boost Sampling:

通常は設定する必要はありませんが、ハンチングの発生な
 どでブーストが安定しない場合に変更してください。
 初期状態では 4 が設定されています。



▶ Unit:

圧力単位切替え [kPa] ↔ [PSI]

▶ Disp Direction:

画面の上下反転 正転 [A] ↔ 反転 [B]

▶ illumination:

バックライトの明るさ設定 最小輝度 [5] ~ 最大輝度 [100]

▪ Soft Version: ソフトバージョンを表示します。

ディスプレイユニットソフト Ver: EVC7_D.003

バルブユニットソフト Ver: EVC7_V.003

アドバイス

設定値はボタン①を短く押して決定した後、そのままでは本体に記憶されません。
 ボタン②を短く押してメイン画面に戻ってください。その時点で記憶されます。ご注意ください。

オプションパーツリスト

本製品には下記のようなオプションパーツが準備されています。必要に応じて、ご利用ください。

番号	コードNo.	品名	備考
1	4599-RA009	ツインターボ車用ホースセット	ツインターボ車取付け時に必要
2	4599-RA010	φ4ホースセット	φ4ホース配管車両取付け時に必要
3	4599-RA017	エアフィルタφ4	
4	4599-RA016	エアフィルタφ6	
5	53002-AK001	ディスプレイスタンド	

維持・管理

⚠ 注意

- ユーザマニュアルに記載されている事項以外は、専門業者に依頼してください。
- エアフィルタの汚れがひどい場合はエアフィルタの交換を専門業者に依頼してください。
 汚れでエアフィルタが詰まっていると制御ができなくなり、エンジン・タービンを破損するおそれがあります。

- 快適に運転していただくために、必ず日常点検を行ってください。
- 汚れやオイルのついた手で本製品に触れないでください。
 ケースが変色するおそれがあります。
- 本製品を清掃する際には、アルコール・シンナ・ベンジン・ガラスクリーナー・石油類及び各種溶剤等を使用しないでください。
 汚れた場合は、乾いた軟らかい布等で軽く清掃してください。
- エアフィルタが極端に早く汚れる場合は、車両側のホース取出口を変更してください。
- 取出口を変更してもエアフィルタの汚れが酷い場合は車両側に問題があるおそれがあります。
 点検・整備を専門業者に依頼してください。

故障と思う前に

本製品が正常に作動しない場合には、故障と判断する前に、下記の症状と照らし合わせて、配線・配管等の確認をしてください。

症状	原因	確認事項・対処方法
電源が入らない	電源線が接続されていない アース線が接続されていない	スプリンスを確実に噛み込ませる
エラーが表示される	通信が正常に行われていない	バルブユニットや中継ハーネスを確実に接続した上でイグニッションを一度OFFにし、再度イグニッションONにする
ブーストが安定しない ブーストが設定値まで上がらない	EVC機能がONになっていない	EVC機能をONにする(本書30ページ参照)
	ノーマル最大ブーストと初期設定ブーストの値が同じ	初期設定ブーストをノーマル最大ブーストより高い値に設定する(本書30ページ参照)
	アクチュエータの特性 ウエストゲートバルブの面積や ストロークの不足 タービンの容量不足	取付け前の車両の特性を把握した上で取付ける、設定可能範囲内で再度設定する
ブースト制御不能	プライマリタービンしか作動していない	セカンダリタービンが作動する条件で走行してみる
	初期設定不良	リセットを行い、初期設定をやり直す
	排気バイパスタイプの設定ミス	(本書30ページ)に表示される排気バイパスタイプを確認し違っている場合は設定し直す
	ホースの抜け・割れ エアフィルタが詰まっている	ホースを確実に固定する、又は交換する エアフィルタを交換する
ワーニング機能が作動する (スクランブル時)	ワーニングの設定値が設定ブーストより低い	ワーニングの設定値を上げる、又は設定ブーストを下げる
設定値が変更できない	スクランブル設定値が高い	スクランブル設定値を下げる
	ロックナンバー(データロック機能)が有効になっている	ロックナンバー(データロック機能)を解除する

異常・故障時の対応



警告

- 使用中、本製品に異音・異臭等の異変があった場合には、本製品の使用を直ちに中止し、お買い上げの販売店までお問い合わせください。そのまま使用すると、感電や火災の原因となります。



注意

- 故障等の修理はお客様ご自身では絶対に対処せず、必ず専門業者に依頼してください。
- 走行中、異音・異臭・振動等の異変があった場合には、ユーザマニュアルに従って対処してください。
- 故障の際は、保証書に必要な事項等が記入・捺印されていることを確認し、保証書に症状を記入のうえ、修理を依頼してください。

保証について

本製品は「保証書」の内容に従って保証されています。「保証書」をよくお読みいただき、お買い上げ日・店名・住所が記入・捺印されていることを確認のうえ、必要事項を記入し、大切に保管してください。記入もれがあると、保証期間中でも有償となります。

- 販売店様へ
本製品は「保証書」の内容に従って保証されています。「保証書」をよくお読みになり、販売日・貴店名・住所を記入・捺印のうえ、お客様に渡してください。記入もれがあると、保証期間中でも有償となります。

保証期間：お買い上げ日より1年間

アフターサービスについて

本製品に関する問い合わせ、及びオプションパーツ・消耗部品・紛失部品等の購入は、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

取外しの際の注意

本製品を車両より取外す際には、必ず専門業者に依頼してください。このとき、専門業者に取扱説明書をお渡しください。



注意

- 本製品を取外した後、車両側の線は必ずテープ等で絶縁してください。ショートによって電装部品を破損・焼損する恐れがあります。

本製品の仕様

◆使用条件

- 電源 …………… DC12Vマイナスアース
- 定格電圧 …………… DC13.5V
- 動作電圧(入力電圧) …………… DC10V～16V
- 動作保証周囲温度 ディスプレイユニット …… -30～65°C(表示可能温度範囲)
バルブユニット …………… -30～100°C(連続動作温度)
- 保存周囲温度 ディスプレイユニット …… -20～75°C
バルブユニット …………… -40～120°C

◆性能仕様

- 動作可能電源電圧 …………… 9.5V以上
- 過電圧保護電圧 …………… ～18V
- 定格電流(V_{CC}=13.5V) …………… 210mA±50mA
- 制御可能圧力 …………… ノーマルブースト～300kPa
- 液晶 …………… 240×320(ドット)TFTカラー

◆一般的な制限事項

- ディスプレイユニット
周囲温度: 65°C以下および直射日光の当たらない場所での使用を推奨します。

●バルブユニット

周囲温度: 85°C以下での使用を推奨します。
 オイル・水等が混入しないようにニップルを上に向けて固定してください。
 裏ぶたを上にした設置はしないでください。
 電源電圧: 10V以下では、モータトルクが低下し、制御スピードが遅くなる場合があります。

用語の説明

- 過給圧制御ソレノイドバルブ : ノーマルのブースト制御装置
 高温になる場所 : 直射日光の当たる場所・ヒーターの吹き出し口・エキゾーストマニホールドの近く等。
- コードNo. : HKS製品及び部品を注文する際に使用する番号。
 誤使用 : 加工及び分解・改造・用途外使用を含む誤った使用。
 整備書 : メーカー発行の車両個々の整備要領書・修理書。
 専門業者 : お買い上げの販売店及び取付けを依頼する整備工場・ショップ。
 点検・整備 : 本製品と自動車全体を安全に運転するために機能・性能を確認し、不具合部位を修理・調整すること。
- 電装部品 : 車両の電気・電子部品。
 日常点検 : 自動車を運行する人が行う点検。日常点検及び点検項目はユーザーマニュアルに従って作業を行ってください。
- ノーマル車両 : 車両購入時の状態である・アフターパーツを取付けていない・事故を起こしたことの無い、以上の条件を満たす車両。
- メーカー : 車両の製造メーカー。
 ユーザマニュアル : お車の購入時についてくる車両の取扱説明書。
 IG線 : イグニッションスイッチ“ON”時に約12V出力する車両の線。

工学単位⇔SI系 単位換算表例

名称	工学系＝換算計数・SI系	SI系＝換算計数・工学系
圧力	1kgf/cm ² ＝98.1kPa	1kPa＝0.0102kgf/cm ²
	1PSI＝6.895kPa	1kPa＝0.14504PSI

改訂の記録

Version	日付	記載内容変更
3-101	2020/ 2	初版

EVCF7 セットアップシート

セットアップ日 年 月 日

車両名:	車両型式:
年式:	エンジン型式:
車両仕様 & 備考	

初期設定

排気バイパスタイプ	SWING・POPET	ワーニングブースト	kPa/PSI
圧力単位	kPa・PSI		

バルブ制御値

Map [A] Point	Point	Map [B] Point	Point
Map [C] Point	Point	Map [D] Point	Point

基本設定

mode	Easy・PRO	メイン画面	Type A・Type B
スクランブルブースト	Point	スクランブル時間	Sec
ワーニングブースト	kPa/PSI	ドロップブースト	Point

マップ補正設定

Map	A
1:マップを使用しない / 2:スロットル開度補正 / 3:エンジン回転数補正 / 4:車速補正	
5:エンジン回転数補正 + スロットル開度補正 / 6:車速補正 + スロットル開度補正	
Map	B
1:マップを使用しない / 2:スロットル開度補正 / 3:エンジン回転数補正 / 4:車速補正	
5:エンジン回転数補正 + スロットル開度補正 / 6:車速補正 + スロットル開度補正	
Map	C
1:マップを使用しない / 2:スロットル開度補正 / 3:エンジン回転数補正 / 4:車速補正	
5:エンジン回転数補正 + スロットル開度補正 / 6:車速補正 + スロットル開度補正	
Map	D
1:マップを使用しない / 2:スロットル開度補正 / 3:エンジン回転数補正 / 4:車速補正	
5:エンジン回転数補正 + スロットル開度補正 / 6:車速補正 + スロットル開度補正	

車両設定

気筒数	気筒	車速パルス	パルス
スロットル全開電圧	mV	スロットル全開電圧	mV
ブーストサンプリングタイム			

Map [A] 補正

回転数または車速	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
スロットル開度	rpm km/h									
1	%	Point								
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

Map [B] 補正

回転数または車速	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
スロットル開度	rpm km/h									
1	%	Point								
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

Map [C] 補正

回転数または 車速 スロットル 開度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	%	Point								
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

Map [D] 補正

回転数または 車速 スロットル 開度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	%	Point								
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										



www.hks-power.co.jp

株式会社 エッチ・ケー・エス
〒418-0192 静岡県富士宮市北山7181

HKS Co.,Ltd.

7181 Kitayama, Fujinomiya, Shizuoka 418-0192, JAPAN

禁無断複写・転載
Unauthorized reproduction is strictly prohibited.